



7月11日、旭非正規職支会（民主労総金属労組）はついに韓国大法院（最高裁）で勝利判決を勝ち取った。A G C資本に組合員22人の解雇撤回・正規職雇用を命じたのだ。チャホノ支会長は「工場に戻って10年前に始めた労組活動を再開する。今や第1幕が終わり、堂々と現場で第2幕を開く」と宣言。そして8月1日、「金属労組旭硝子支会」の真新しい旗を掲げ、堂々の初出勤を勝ち取った。



8.30

旭闘争勝利集会

8月30日(金)午後6時30分開会
亀戸文化センター5階第1・2研修室

(JR 総武線・東武亀戸線 亀戸駅北口より徒歩2分)

韓国から民主労総金属労組旭硝子支会（勝利判決後、旭非正規職支会から改名）を迎え、旭闘争勝利集会を開催します。2015年春、労組設立から1カ月後、A G C（旧・旭硝子）は、下請け会社丸ごと集団解雇しました。以来9年、旭支会は資本・政府・検察・警察と実力で闘い、非正規職撤廃闘争を牽引し、サード配備反対など連帯の輪を広げてきました。旭闘争の勝利を共に喜ぶとともに、勝利の教訓を学び、階級的労働運動の力としましょう。今秋11月労働者集会へ巨大な反戦闘争を実現しましょう！

〈写真左〉判決後、チャホノ支会長を胸上げて喜ぶ旭支会組合員 〈写真右〉A G C本社前で「判決を直ちに履行せよ」と要求する旭支援共闘会議（7月11日）

旭非正規職支会支援共闘会議

〒260-0017 千葉市中央区要町2-8DC 会館

TEL 090-9016-0272

メール asahihiseiki@ybb.ne.jp

発行責任者 事務局長 清水彰二



旭支会が AGC 韓国工場へ 9年ぶりに「初出勤です！」



8月1日朝、初出勤を前にチャホノ支会長があいさつ

幸せです。胸躍る喜びです。今日この瞬間を一生忘れません。今日の出勤は、多くの同志たちが9年間共に生きてきた道です。路上で今日のように蒸し暑い夏を10年送りました。パククネ政府2年、ムンジェイン政府5年、ユンソンニョル政府2年です。この長い時間に勝利し、頑張ったわが同志たちを誇らしく思います。考えると涙が出ます。裁判所がこの勝利をもたらしたのではなく、法的処罰を絶えず受けながら、われわれが直接つくり出した勝利です。

今日の出勤は、民主労組の道です。この旗を守るために9年闘いました。そしてついに守り抜きました。非正規職だったわれわれが正規職になり、民主労組の旗を掲げ出勤します。胸がいっぱいです。最初に民主労組の旗を掲げた9年前にまた戻る道です。現場で堂々と民主労組活動を展開します。同志の皆さん、ありがとうございます。今日の最初の出勤は、幸せな気持ちと共に、再び決意する気持ちで出発します。今闘争の第一幕が終わり、今日工場の正門に入る瞬間、闘争の第二幕が開始されます。

終始一貫、会社に出勤するための準備の時間を要請しましたが、会社は拒否しました。会社はこの2週間、無断欠勤をしていると自宅に書留を3度も送って来ました。あきれてものが言えません。去る4月、組合員1名が脳出血で倒れ、手術を受けたが、まだ病院にいます。今日出勤できない状態です。解雇9年がつくり出したものです。会社は反省もなく、謝罪もありません。会社は、労組を破壊しようとしたが失敗し、数百億ウォンを棒に振っても、変わったことは一つもありません。

われわれはこの9年の経験で、団結と闘争で、現場でさらに一生懸命闘います。より大きな民主労組を作ります。そしていつか1100万非正規職労働者と共に進みます。ありがとうございます。